

熊谷デジタルミュージアム

平成23年10月に、市内の文化財などの情報を幅広く盛り込んだインターネット上の博物館「熊谷デジタルミュージアム」を開設しました。画像や動画を通して、幅広い文化財の情報や郷土の歴史について解説しています。

熊谷デジタルミュージアム 検索



テーマ展

現在開催中のテーマ展
わが街熊谷遺跡めぐり
『藤之宮遺跡』(上之地内)
とき 平成25年3月22日(金)まで



展示室

市内の遺跡から出土した土器や石器、埴輪などを公開し、埋蔵文化財の普及・啓発を行っています。
開館時間 9:00～17:00(土・日曜日、祝日、年末年始は除く)
費用 無料



体験教室

「あなたも古代人!」と題して、夏休み期間中にまが玉づくりと土器づくり、火おこし体験などを行っています。また、毎年埼玉県民の日(11月14日)にも、まが玉づくり体験を行っています。



短甲の武人(左)と馬(右)の埴輪は上中条から出土しました。どちらも国指定重要文化財で東京国立博物館に所蔵されています。

宝がいっぱい、魅力がいっぱい
江南文化財センターを紹介します

市立江南文化財センターは、「つくる、しる、ふれる」を基本コンセプトとして平成19年にできました。センターは、市内の文化遺産として伝えられた「文化財」の保存・調査・研究のほか、文化財を活用し、未来へ継承していく仕事をしています。

建物や美術工芸品などの有形文化財や伝統芸能や音楽といった無形文化財、自然環境と切り離せない天然記念物、地中から発掘された埋蔵文化財など、保護対象の文化財は多岐に渡っています。

センター内では、日本最古銘の板石塔婆である「嘉禄三年銘板碑」や「踊る埴輪(レプリカ)」など、市内で出土した埋蔵文化財の展示のほか、出土した埋蔵文化財の収集・整理を行っています。

◆江南文化財センター
TEL 048-536-5062
〒360-0107 千代329

interview

整理作業員 木村のぶ子さん(右)
木村有美さん(左)

“過去からの贈り物を未来へ”

私たちの行う作業は、非常にデリケートでなおかつ根気のいる作業です。例えば、土器などのかけらを組み合わせる接合作業では、土器を破損しないように注意深く扱います。ばらばらになって出てきた土器のかけらを知識や経験、文献などを参考にして、全体像を想像しながら少しずつ組み上げていきます。徐々に組み上がっていく様子を見ていると、まるでわが子を育てているような感覚になり、完成したときにはとても愛着が湧いてくるんです。これからも過去からの贈り物を未来に繋ぐという使命感を持って仕事をしていきたいと思っています。

ぜひ皆さんも江南文化財センターに足を運んで、古代の魅力に触れてみてください。



復元作業 出土した埋蔵文化財は、センターに運ばれ、洗浄、注記、接合、復元、実測、撮影という作業を行います。得られたデータは、調査報告書として刊行します。復元された土器等は保管されるほか、センター内での展示や博物館施設等に貸出し、発掘の成果を広く公開します。



発掘調査 市内には約350の遺跡や古墳群が確認されています。工事や開発を行う場所がこれらに該当する場合には、埋蔵文化財を保護する対策が必要です。まず、文化財保護法に基づき届出等を提出していただき、工事

内容を確認します。必要がある場合は、遺跡の有無・深さ等を把握するために「試掘調査」を行います。そして、遺跡が破壊されてしまう場合には、記録保存を目的とした「発掘調査」を行います。

埋蔵物の発掘と復元の様子を見てみよう!

見に来てね



熊谷市特別表彰

10月29日、先のロンドンパラリンピックで活躍された岸光太郎選手(車いすラグビー4位入賞)と高桑早生選手(陸上100m・200mで7位入賞)に対し、その功績を称え特別表彰を行いました。



元気に、力強く、そして華麗に！

11月4日、第11回オードレなおざねがコミュニティひろばや国道17号を会場に行われ、参加者達のエネルギーが溢れ、観客を魅了しました。



福田正博さんが中条小へ！

11月7日、中条小学校へ元リリーガーで日本代表の福田正博さんが講師としてやってきました。児童の皆さんはボールを使った運動やミニゲームを楽しみました。



地域に轟く太鼓の鼓動

10月28日、第6回こうなん祭りが江南総合文化会館ピア駐車場で開催されました。あいにくの雨にもかかわらず、物産店やステーションが訪れました。



楽しくみんなでおいも堀り
10月20日、さつまいもの収穫・調理体験などを行うグリーンツーリズムイン江南が開催されました。たくさんのおいしいものを収穫し、皆さん大満足の様子でした。



快晴の中、駆け抜けたランナー達

11月3日、トップランナー達がタスキを繋ぎ、12彩の国実業団対抗駅伝競走大会が開催されました。市内を駆け抜ける選手たちに、たくさんの人たちからアツイ声援が送られました。優勝チームには熊谷市長賞が授与されました。



雨の中でも何のその！

10月28日、妻沼さくら公園をメインに第5回ニャオざねまつりが行われました。当日の空は雨模様でしたが、ニャオざねも元気に皆さんと触れ合いました。



掘り出し物みつけた！

10月27日、環境美化センターでリサイクルフェアが開催されました。家具、自転車、本シーズンズなどが販売され、会場は大いに盛り上がりました。



第1回ひと涼みアワードで『トップランナー賞』を受賞！

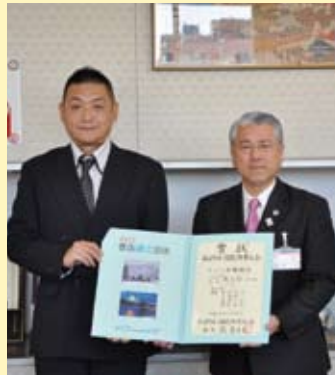
環境省をはじめ、全国約2,400の企業、行政、民間団体(事業者)で組織される、熱中症予防を推進する運動「熱中症予防声かけプロジェクト“ひと涼みアワード2012”」において、282の取組みから、本市の暑さ対策事業が上位7団体に授与される『トップランナー賞』を受賞しました。今後も、本市では熱中症対策をはじめとした様々な暑さ対策事業を推進していきます。



表敬訪問



1年7か月ぶりの帰郷
10月17日、東日本大震災で被災され、熊谷市に避難していた紺野さん親子が故郷の南相馬市に戻ることに成り、挨拶のため市長室を訪れました。



国体での優勝を報告
10月24日、ぎふ清流国体クレー射撃競技会においてトラップ射撃団体で優勝したメンバーの1人、寺田真二選手が市長を表敬訪問しました。

市報クイズ10月号で寄せられたご意見を紹介します。

おたよりパレット
テーマ
「大みそかの過ごし方」

今年も残りわずかとなりました。大みそかには、新年を迎える準備の後、家でゆっくり過ごされるという方が多いようですね。年の締めくくりの大みそかを大切に過ごされ、素敵な新年をお迎えください。
※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています▶<http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- こたつで、家族みんなで紅白をみながら年越しそばを食べ、除夜の鐘とともに近所の神社に初詣にいきます。毎年の定番ですが、この時間を過ごせることかなよりの幸せです。(30代・女性)
- 大みそかは、毎年！家族全員で年越しそばを食べ、お風呂屋さんへ行き一年のつかれを流しにいきます。なぜか、いつも大みそかのお風呂屋は、混雑しています。(小学生)
- 大そうじをした後、こたつにはいって家族と紅白を見ながらゆっくり過ごします。(60代・女性)
- 大みそかはおじいさんの作った手打ちそばを食べるのが恒例行事です。素人なのでプロとはちがう格別の味です。(30代・女性)
- 我が家の大みそかは毎年お客がきます。朝から酒をのんだりテレビ見たり、私は大忙し。でも、健康でお世話出来る事が幸せです。(60代・女性)

今月のテーマ「あなたの好きな冬景色」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法
ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「あなたの好きな冬景色」のコメントを必ず記入し、12月20日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
✉ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者には月末頃にプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

今月の問題
次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
①□月には地球温暖化防止月間です。
②12月4日～10日は□週間です。

今月のプレゼント
No One Style Cafe(ノーワンスタイルカフェ)ご提供の、デザートセットを、正解者の中から抽選で20人に差し上げます。
No One Style Cafe(ノーワンスタイルカフェ)
所在地:龍原南3-443 電話:048-598-5859

10月号の正解
①特定 ②1 ◆応募総数123通中、正解111通

読んで当てよう
市報クイズ

夢追い人

平常心で高みを目指す

黒沢怜生三段(銀座在住) (日本将棋連盟奨励会員)



道場で鍛えられた幼少期

小学校1年生の時、友人に誘われて対局したのが将棋との出会い

壁にぶつかった奨励会初段

奨励会でも順調に昇級していったことと大会での好成績が元で、当時の私は自信過剰になっていったのかもしれません。そのためか、初段昇段後しばらくの間、成績の足踏みが続きま

苦しい日々が続いた高校3年の夏に、進学をして将棋をやめるか、このままこの将棋の世界へ進むか人生の岐

路に立たされたのです。この時、今のままで大丈夫だと自らを奮い立たせ、本気で将棋で生きて行こうと決心しました。努力のかけがあり、18歳の時にプロ棋士への門をたくたく地位である三段へ昇段しました。

この世界で生きるにはやるしかない

現在は、奨励会や練習将棋を指す傍ら、将棋教室の助講師やプロ棋士の対局の記録係をしながら研鑽を積んでいます。記録をとりながら、自分ならこの局面をいかに指すか考えるところが勉強になるんです。プロ棋士の世界への入口は、実力の拮抗した奨励会三段の猛者達30人で星を奪い合うリーグ戦で、上位の成績を修めた2人にしか開かれぬ狭き門です。負けると苦しくて、何のためにここまでやってきたのだろうかと自分を責めたり、悩んだりします。けれど、出る結論はいつも一緒「どうせやるしかない!」。いつもどおり、平常心・自然体で指し続けるしかありません。

発行日 平成24年12月1日 ●発行 熊谷市
編集 広報広聴課 〒360-0860 熊谷市宮町二丁目47番地
TEL 04-86-524-1111(内線06) FAX 04-86-520-2870

さあ、歩こう! く・ま・さ・ん・ほ

市内の名所やちょっとした景色を楽しみながら、ウォーキングができるコースをご紹介します。運動不足解消や新たな熊谷の発見など、楽しみ方をさがすのも良いかもしれませんね。

◆スポーツ振興課 TEL 内線 391

第13回 熊谷大橋～荒川大橋周回コース

歩く距離 約9.1km

- A 熊谷南小学校 (3,000m)
- B ひろせ野鳥の森駅 (1,000m)
- C 熊谷大橋 (1,300m)
- D 平山家住宅 (3,400m)
- E 荒川大橋 (400m)
- A 熊谷南小学校



コースの概要

熊谷南小学校をスタートし、熊谷大橋、荒川大橋を渡って周回する約9.1kmの荒川堤を歩くコースです。平山家住宅は、江戸時代中期の建築で、関東地方でも有数の農地住宅として国指定重要文化財になっています。荒川の右岸からは熊谷市街地の景観を楽しむこともできます。



A 地点付近



D 地点付近

歩いた成果は・・・

歩いた距離をウォーキングポイントカードに記録し、300kmに達した方には、ささやかな景品を贈呈します。カードは、スポーツ振興課に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

ウォーキングのポイント

- ・歩幅は、肩幅の1.5倍が目安。
- ・自分のペースで風を感じる速さで歩く。
- ・専用シューズを利用してアクティブに。

人口と世帯

●平成24年11月1日現在(対前月比)
■人口 203,724人(+100) 男 101,665人(+51) 女 102,059人(+49) ■世帯 82,426(+117)

「市報くまがや」12月号は、72,300部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

「市報くまがや」は、毎月1日原則に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットで「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>